

令和 7 年 9 月 30 日

保護者 様

袋井あやぐも学園
袋井市立袋井西小学校
校長 大竹 佳子

令和 7 年度全国学力・学習状況調査の結果および活用について

本校では、6 年生を対象に実施される全国学力・学習状況調査の結果をもとに、本校児童の傾向の把握・分析を行い、一人ひとりに応じた学習指導や授業の改善に活用しています。
今年度の結果につきまして、以下のように概要と今後の対策をまとめましたので、御報告いたします。

1 学力調査と学習状況調査の結果について

(1) 学力調査 全国平均正答率を「☆☆☆」とした場合の本校児童の正答率
高い☆☆☆☆☆、やや高い☆☆☆☆、やや低い☆☆、低い☆

国語	全体	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		
		言葉の特徴 や使い方	情報の 扱い方	我が国の 言語文化	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと
		☆☆☆	☆☆☆	☆☆	☆	☆	☆☆
算数	全体	学習指導要領の領域				評価の観点	
		数と計算	図形	変化と関係	データの 活用	知識及び 技能	思考力、判断 力、表現力等
		☆	☆	☆☆	☆	☆	☆
理科	全体	学習指導要領の領域				評価の観点	
		「エネルギー」 を柱とする領域	「粒子」を柱 とする領域	「生命」を柱とす る領域	「地球」を柱と する領域	知識及び 技能	思考力、判断 力、表現力等
		☆	☆	☆	☆☆	☆	☆

(2) 学習状況調査（児童質問紙）の結果から

【本校児童のよいところ】全国と比べて肯定率が高かった主な項目	全国値との比較
◎ 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	86.3% (+4.4%)
◎ 人が困っているときは、進んで助けていますか。	97.6% (+3.9%)
◎ いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。	98.8% (+1.6%)
◎ 学級活動における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。	98.8% (+3.0%)
◎ 学校に行くのは楽しいと思いますか。	87.5% (+1.0%)
本校の児童の良さは、毎日同じくらいの時刻に起きたり、寝たりすることができ、生活のリズムが整っている点が挙げられます。また、友達を助けたり、いじめはだめだと考えたりして、友達とのかかわりを大切にして行動している児童が多くいます。さらに、学級活動での話合いを通して、自分の行動を振り返ることができています。生活リズムが整っている、友達関係に満足していることなどから、学校に行くことを楽しいと感じることができる児童が多くいます。	

【本校児童の課題】全国と比べて肯定率が低かった主な項目

全国値との比較

◎ 国語の授業がよく分かる。	77.6% (-14.6%)
◎ 読書は好きですか。	55.0% (-14.7%)
◎ 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	70.1% (-10.2%)
◎ 自分がタブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができますか。	62.5% (-14.2%)
◎ 算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか。	51.3% (-14.2%)

本校の児童の課題は、国語の授業がよく分かったと答える児童が少ないことです。国語にかかわって、読書が好きと答える児童も全国の平均と比較すると少ないです。また、タブレットなどのICT機器について、授業でほとんど毎日使用しているものの、相手に分かりやすく伝えるためのプレゼンテーションを作成する活動に機器を活用していないことが課題として挙げられます。また、算数の授業において、自分の考えを説明する活動が少ないと感じていて、テストで考えを説明する設問の正答率の低さにつながっています。

2 「学力調査」の結果から

【国語】

国語で力が付いている点	有効だったと考えられる取組
○自分が聞こうとしている意図に応じて話の内容を捉える問題の正答率が高い。	○教材を読み取る学習で、着目する言葉を取り上げたり、指導したりしていること
○学年で学習した漢字を文の中で適切に使う問題の正答率が高い。	○継続的な書き取りへの取組と、基礎学力定着のためのテストの実施を積み重ね、確実な見取りと指導を行ってきたこと
国語で課題と考えられる点	授業の改善方法
● <u>話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる</u> 問題の正答率が低い。	○日頃から <u>自分の考えをアウトプット（表現）</u> すること ○友達の見解と比べるために、児童の発表を取り上げ、 <u>学級全体へ発表内容について問い返す</u> こと
● <u>書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文の構成を考える</u> 問題の正答率が低い。	○自分の考えをどのようにまとめればよいのか、 <u>教科書の例を用いて、文の順序や、理由を明確にするなどのポイントを押さえること</u>

【算数】

算数で力が付いている点	有効だったと考えられる取組
○棒グラフから、数量の関係を読み取る問題の正答率が高い。	○視覚的に理解できるような板書の工夫やICT機器の活用がされていること
○伴って変わる二つの数量の関係に注目して、知りたい数量を求める問題の正答率が高い。	○基礎学力が向上するよう、くり返し学べるような授業の工夫、基礎学力定着のためのテストの実施、宿題の指導の充実を行ってきたこと

算数で課題と考えられる点	授業の改善方法
●分母がちがう分数のたし算を計算し、 <u>計算の仕方を数や言葉で記述する</u> 問題の正答率が低い。	○計算の仕方を考え、 <u>計算の過程をノートに書いたり、友達に説明したりする活動を充実</u> させること
●伴って変わる二つの数量に注目し、 <u>問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の求め方を式や言葉を用いて記述する</u> 問題の正答率が低い。	○相手に伝わるように、 <u>算数で使う言葉を適切に使って、順序良く自分の考えを説明</u> すること

【理科】

理科で力が付いている点	有効だったと考えられる取組
○電気の回路の作り方について、実験の方法を発想し、表現する問題の正答率が高い。	○実験の結果から何が考えられるかを、授業で繰り返し考える機会があること
○温度によって水の状態が変化するという知識を基に、水の結露について適切に説明しているものを選ぶ問題の正答率が高い。	○授業で学ぶことを、日常の事象と結び付けて取り上げていること
理科で課題と考えられる点	授業の改善方法
●ヘチマの <u>花のつくりや受粉についての知識が身に付いている</u> かどうかをみる問題の正答率が低い。	●おしべやめしべ、受粉といった <u>理科で使う言葉やその言葉の意味について、基本的な知識の定着</u> を図っていくこと
●乾電池のつなぎ方について、 <u>直列つなぎに関する知識が身に付いている</u> かどうかをみる問題の正答率が低い。	● <u>実際に実験で確かめる経験を積み重ねて</u> いくこと

学校では

- 児童が学習が大切で役に立つと感じたり、生活とのつながりを実感したりすることで、学ぶことが楽しいと感じることができる授業に取り組みます。
- 自分の考えをアウトプットする場面を増やしていきます。条件に合わせて自分の考えをまとめたものを、友達同士で説明し合うことで、相手に分かりやすく、筋道立てて説明できる力を高めます。



家庭・地域では

- ◎ 自ら学ぶことを大切にし、学ぶことが楽しいと実感するために、自分に必要だ、興味があると感じたことについて学んだことをまとめる自選学習への取組を進めていきます。
- ◎ 本を読むことで、普段使わない言葉や表現に出会うことができます。自分が伝えたいことを豊かに伝えることにつながります。自分の考えや感情を上手に伝えることで、コミュニケーションの力も高まります。まちじゅう図書館を活用し、お子さんと一緒に読書をしたり、読み聞かせをしたりする時間を過ごしてください。
- ◎ 子どもたちの基礎基本の定着のために、保護者や地域の方には、学習ボランティアへの参加をお願いします。学校からのお願いがあった際には、快く引き受けていただけると大変ありがたいです。

